

にかほの外資メガソーラー

ヌノタニ(秋田)が保守契約

総合設備業のヌノタニ(秋田)は8日、にかほ市大竹町で大規模太陽光発電所(メガソーラー)「AKITAN IKAHO発電所」を操業するタイ資本のピーシーピーエーエンジニアリング(東京)と発電所の電気設備の保守契約を結んだ。ヌノタニは2037年まで20年間、発電設備などの定期点検を請け負う。発電所は昨年7月に稼働開始。最大出力は1万3千瓩で、年間発電量は一般世帯約3千世帯分に相当する約1400万瓩時。固定価格買い取り制のは初めて。



ヌノタニは、発電設備や受変電設備を対象に定期点検を「イームチャイ・パーワン」社長行う。今月中旬には契約後初となる6カ月点検を実施する。

にかほ市のメガソーラーの保守契約を結んだヌノタニの布谷社長(左から3人目)とピーシーピーエーエンジニアリングのサイアムチャイ社長(同4人目)。

順調に操業を続けられると確信している。秋田・タイ王国友好協会の幹事長を務めるイボン氏も出席。「秋田とヌノタニの布谷社長は「今回の契約を一步として、県発展のためタイとの経済交流を活性化できるよう頑張りたい」と述べた。

(羽生恭子)

あきた経済

情報やこ意